

アラン・ルノー氏 講演会

現代におけるジェノサイドと

大量殺戮の問題

— なぜ人類は今日なお悪を極限まで
先鋭化することができるのか? —

*Génocides et massacres de masse contemporains :
comment l'humanité peut-elle rester capable des pires
radicalisations du mal ?*



2015年11月29日(日) 14時45分開場 15時開始

京都大学 吉田キャンパス

文学部校舎第4講義室(新館2階)

フランス語講演(通訳付き)

アラン・ルノー (Alain Renaut)

パリ・ソルボンヌ大学(パリ第4)教授 政治哲学・倫理学

カントやフィヒテに関する哲学史研究を手掛けた後、政治哲学・法哲学・倫理学にまたがる規範的観点から現代世界の諸問題に取り組む。2011年に応用政治哲学国際センター(CIPPA)創設。邦訳に『個人の時代』、『サルトル、最後の哲学者』(いずれも法政大学出版局)など。最新刊に『正当化できないものと極限状況』(未邦訳 *L'Injustifiable et l'Extrême*, Le Pommier, 2015)。

主催：京都大学文学研究科宗教学専修

助成：公益財団法人野村財団 2015年度下期社会科学国際交流助成

(北川忠明・杉村靖彦・服部敬弘・堀茂樹・宮代康文 [代表]・山元一「グローバル化する現代世界での貧困・暴力・リスク」)